

第2編

5つの重点プロジェクトと 施策の推進, 成果向上の視点

第1節 5つの重点プロジェクト

第2節 施策の推進, 成果向上の視点

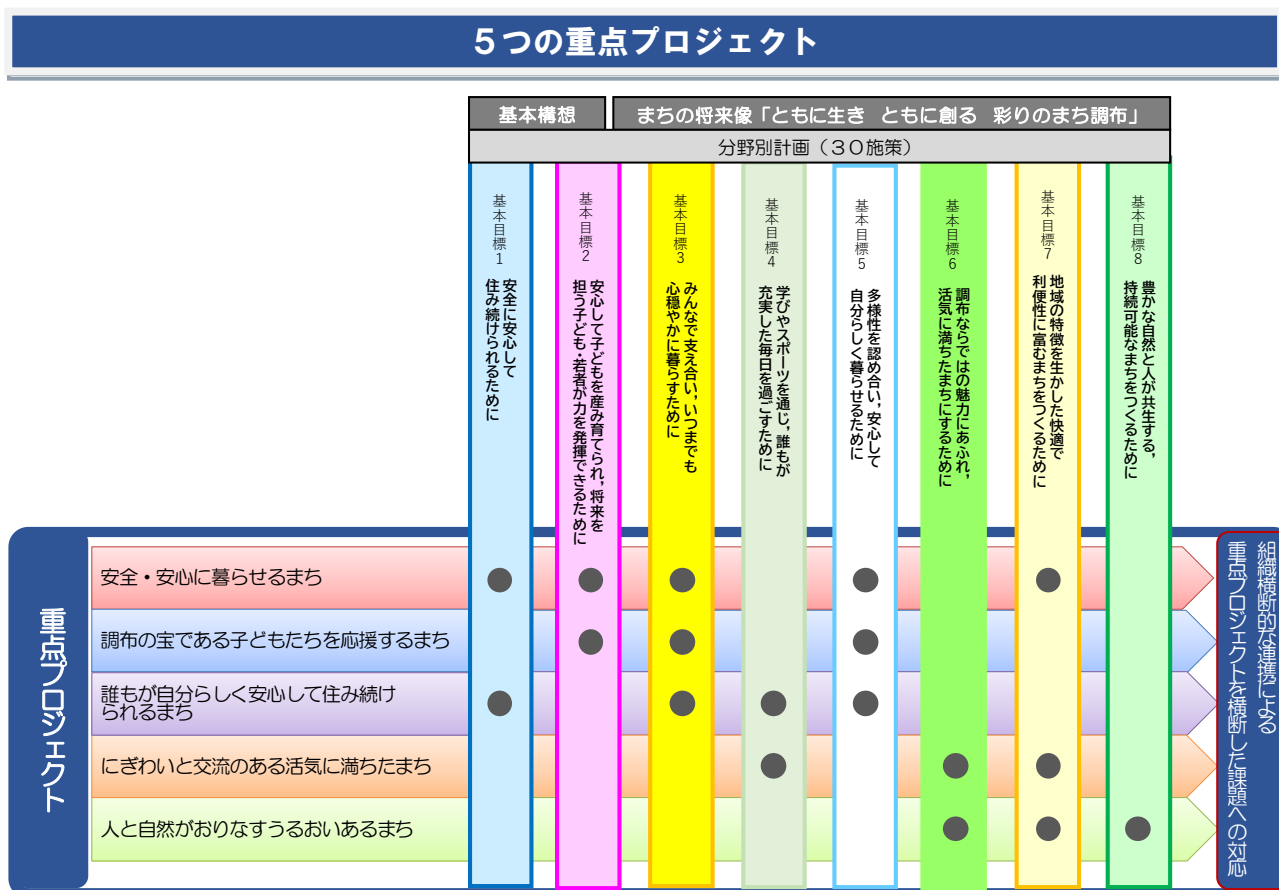
第1節 5つの重点プロジェクト

調布市基本構想において、市は、まちの将来像「ともに生き ともに創る 彩りのまち調布」の実現に向け、8つの基本目標を位置付けています。これを受け、基本計画において、この基本目標とまちづくりの基本理念に沿った分野別計画を体系化し、30の施策を位置付けています。

また、分野別計画において、市は、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要事業について、優先性を踏まえた選択と集中の観点から重点プロジェクトとして位置付け、限られた経営資源を計画的かつ効果的・効率的に活用し、基本構想に掲げたまちの将来像の実現を目指します。

本基本計画においては、後期基本計画（令和元年度～令和4年度）を継承しつつ2030年代を展望し「安全・安心に暮らせるまち」、「調布の宝である子どもたちを応援するまち」、「誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち」、「にぎわいと交流のある活気に満ちたまち」、「人と自然がおりなすうおいあるまち」の5つの視点から、8つの基本目標を横断的に関連付け、計画期間内に特に重点的に取り組む主要事業を抽出し、重点プロジェクトとして位置付け、施策を進めていきます。

あわせて、重点プロジェクトを横断した課題に対しても、引き続き、組織横断的な連携・協力体制の下、対応を図ることで、更なる施策の推進につなげていきます。



重点プロジェクト1 安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト

目指すまちの姿

○自助・共助の取組を推進する中、公助の取組と地域や関係機関及び他自治体等との災害時における連携体制の強化や、犯罪を未然に防止するための取組の推進により、防災・減災対策の強化や地域防犯力の向上が図られています。

○近年の地震災害をはじめ、令和元年台風第19号における浸水被害のほか、新型コロナウイルス感染症に伴う対応や教訓を生かし、ソフト・ハード両面からの防災・減災対策及び新たな感染症発生時における対応力が向上しています。

○事前の備えを始めとした「自助」の取組の啓発や地域での防災活動などの「共助」の取組など地域防災力の向上の取組の推進が図られています。



○地域の防犯体制が強化され、犯罪が起りにくく安全・安心に暮らすことができます。

○災害時における緊急輸送道路の機能確保、住宅の耐震化促進、下水道施設の浸水対策や耐震化など、市民の暮らしに安心感をもたすことができる都市基盤が整備されています

○緊急輸送道路の沿道建築物や住宅の耐震化が進み、震災時における復旧・復興の大動脈となる輸送機能の確保のほか、避難時の安全な移動ルートが確保されています。

○浸水を未然に防ぐ施設の整備が進むとともに、下水道施設の耐震化や老朽化対応が進み、災害時における安全性の更なる向上が図られています。

令和8（2026）年度の到達点

指標	基準値	目標値
調布市の地震、風水害への災害対策に満足している市民の割合（上段：地震 下段：風水害）	67.6% 67.6% (令和3年度)	
治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	83.2% (令和3年度)	

重点プロジェクト事業（候補）

～地域の防災・防犯力を高める～

- 地域防災力の向上
- 調布市避難行動要支援者避難支援プランの推進
- 防災備蓄品の配備及び利活用
- 災害情報システム等の効果的な活用
- 消防団の対応能力の向上
- 命の教育活動の推進（「調布市防災教育の日」）
- 犯罪抑止対策の推進

～災害に強い都市基盤をつくる～

- 緊急輸送道路沿道建築物耐震化の促進
- 下水道施設の浸水・地震対策の推進

重点プロジェクト2 調布の宝である子どもたちを応援するまちをつくるプロジェクト

目指すまちの姿

○地域の中で安心して子どもを産み、育てられる環境づくりが進んでいます。

○子育て関連施設が連携した質の高い多様な保育サービスが提供されるとともに、妊娠期から子育て期にわたる各場面に応じた切れ目ない支援体制の充実が図られています。

○次代を担う子どもたちがそれぞれの個性を伸ばすとともに、学力の習得や心身の育成など、安心して学び、成長できる環境づくりが進んでいます。

○子どもたち一人一人の個性を踏まえて対応できる学習環境や支援体制が整備されるとともに、地域と連携した安全・安心で魅力ある学校づくりが進んでいます。

○子ども・若者の一人一人を取り巻く状況に応じて、地域で支える環境づくりが進んでいます。

○困難を抱える子ども・若者に対して、学習支援や居場所の提供のほか、生活支援、相談支援などを行う体制の充実が図られています。

○貧困やいじめ、児童虐待など、子ども・若者を取り巻く様々な課題に対応するため、関係機関等による組織横断的な連携体制が整備されています。

令和8（2026）年度の到達点

指標	基準値	目標値
子育て支援サービスに満足している市民の割合	68.3% (令和3年度)	➔
小・中学校の教育に満足している市民の割合	67.7% (令和3年度)	➔
社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合	※基本計画策定に関する 市民アンケート調査で把握	➔

重点プロジェクト事業（候補）

～子育て環境を充実させる～

- 出産・子育て応援事業
- 子どもの医療費助成
- 児童虐待防止センター事業の推進
- 保育サービスの充実

～学校教育を充実させる～

- ICT環境の整備・活用と情報教育の推進
- 特別支援教育の推進
- 不登校児童・生徒への支援
- コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働本部との一体的推進
- 小・中学校施設の整備

～子ども・若者の健やかな成長と自立を支える～

- 子ども・若者への支援

重点プロジェクト3 誰もが自分らしく安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

目指すまちの姿

- 誰もが住み慣れた地域で生活できるよう、地域における共生社会の充実が図られています。
- 困難を抱える市民の生活を支えるため、地域福祉コーディネーターを中心とした多機関協働による相談支援等により、地域におけるトータルケアが充実しています。
- 高齢者が、住み慣れた地域の中で、安心して生きがいをもって暮らし続けることができるよう、高齢者を支える取組が進んでいます。
- 高齢者が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、相談支援体制の充実や、医療・介護の連携強化、生活支援、見守りなど、地域包括ケアシステムが深化しています。
- 障害者が安心して地域で共に暮らし、自立した生活をおくることができるよう、障害者を支える取組が進んでいます。
- 障害者の暮らしを支える取組やサービスの充実が図られるとともに、障害者を身近で支える家族等へのケア及び障害者を地域で支える体制の充実が図られています。
- それぞれのライフステージや状況に応じた健康づくりに関する取組の充実が図られています。
- 一人一人の健康づくりを支援するため、多様な主体と連携した疾病予防や早期発見、重症化予防などのほか新たな感染症などの健康危機への対応が進められています。

令和8（2026）年度の到達点

指標	基準値	目標値
地域福祉コーディネーターの新規相談件数（個別支援）	429件 （令和3年度）	↑
高齢者の福祉に満足している市民の割合	69.5% （令和3年度）	↑
障害者の福祉に満足している市民の割合	68.0% （令和3年度）	↑
定期的ながん検診を受けている人の割合	50.8% （令和3年度）	↑

重点プロジェクト事業（候補）

～地域福祉を進める～

- 地域福祉コーディネーターを中心とする包括的な支援体制の構築

～高齢者の暮らしを支える～

- 地域包括支援センターの充実 ●認知症対策の充実 ●介護予防・日常生活支援総合事業の展開

～障害者の暮らしを支える～

- 障害者の就労支援 ●障害児・者医療的ケア体制支援事業 ●重度障害者施設の整備

～健康づくりを推進する～

- 総合的ながん対策の推進

重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

目指すまちの姿

○利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある都市空間の創出, 地域の特性を生かした魅力ある市街地の形成が図られています。

○交通利便性向上に加え, 環境空間としての交流機能や景観形成機能などの広場空間を兼ね備えた駅前広場とともに, 駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地を有効に活用した, にぎわいや交流, うるおい, やすらぎのある都市空間が整備されています。

○地域の特性を生かした快適で利便性の高いまちづくりが進められています。

○まちの回遊性を高め, 歩いて楽しいまちが形成されているとともに, 映画やスポーツなどの地域資源を生かし, まちの活性化が図られています。

○産業振興と都市基盤の整備が一体となった魅力的な中心市街地が形成されています。

○安全で快適な歩行者空間ネットワークの形成により, まちの回遊性の向上が図られているとともに, 映画・映像関連企業との連携や, スポーツ, 文化芸術などの地域資源の活用により, まちの活性化が図られています。

令和8(2026)年度の到達点

指標	基準値	目標値
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	68.3% (令和3年度)	➔
「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	78.6% (令和3年度)	➔

重点プロジェクト事業(候補)

～まちの活力を生み出す都市をつくる～

- 調布駅前広場の整備
- 東部地区における交通環境の改善
- 鉄道敷地の整備
- 道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成

～にぎわい・交流のあるまちをつくる～





- 地域経済活性化の推進
- 文化芸術事業の実施
- 「映画のまち調布」の推進
- 東京2020大会等のレガシーの継承・発展
- 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進

重点プロジェクト5 人と自然がおりなすうまいのあるまちをつくるプロジェクト

目指すまちの姿

- 環境保全に対する意識の一層の高まりと併せて、脱炭素や循環型社会の形成が進んでいます。
- ゼロカーボンシティの実現に向けて、環境負荷低減の取組や再生可能エネルギーの活用促進など、地球温暖化対策の推進に向け、行政や市民、事業者における行動変容が進んでいます。
- 市民や事業者等との連携による環境保全活動や、環境教育・環境学習に関する取組の充実が図られています。
- 大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、自然との共生が次世代に継承されています。
- 貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の保全・活用をはじめ、公園・緑地等の整備などを通して、水と緑の保全・活用の推進が図られています。
- 貴重な緑地空間としての都市農地の保全・活用が図られ、災害時における防災空間としての役割や、うるおいとやすらぎをもたらす住環境の形成など、多面的機能が確保されています。
- 地域固有の景観資源や、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が推進されています。
- 深大寺地区において、地域との連携により、街なみ景観が一層整備され、武蔵野の自然と歴史・文化が継承された魅力ある景観形成が図られています。

令和8（2026）年度の到達点

指標	基準値	目標値
市域から排出されるCO2排出量	調査中	
市の公共施設及び車両から排出されるCO2排出量	1万3880t-CO ₂ (令和3年度)	
緑や自然環境の保全に満足している市民の割合	76.1% (令和3年度)	
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	83.7% (令和3年度)	

重点プロジェクト事業（候補）

～脱炭素・循環型社会を形成する～

- 地球温暖化対策の推進
- ごみの減量と資源化

～豊かな水と緑を大切に守り生かす～

- 都市農地の保全・活用
- 公園・緑地、崖線樹林地の保全
- 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用
- 公園・緑地等の整備

～良好な景観を創出する～

- 深大寺地区におけるまちづくりの推進

第2節 施策の推進, 成果向上の視点

市は、本基本計画に位置付けた各施策の推進及び成果向上に加え、横断的連携による相乗効果を視野に、基本構想におけるまちづくりの社会潮流や課題を踏まえた「デジタル技術の活用」「共創のまちづくり」「脱炭素社会の実現」「フェーズフリー」の4つの視点から、先進的な取組やモデル事業等を抽出しつつ、共有しながら取組を推進します。

あわせて、これらについて、施策及び庁内組織における横断的な連携はもとより、市民や団体、企業、他自治体等の多様な主体と連携・協力し取り組むことで、更なる施策推進、成果向上につなげていきます。

施策番号	施策名	デジタル技術の活用	共創のまちづくり	脱炭素社会の実現	フェーズフリー
施策 01	災害に強いまちづくり	↑	↑	↑	↑
施策 02	防犯対策・消費者安全対策の推進	↑	↑	↑	↑
施策 03	子ども・子育て家庭の支援	↑	↑	↑	↑
施策 04	学校教育の充実	↑	↑	↑	↑
施策 05	青少年の健全育成	↑	↑	↑	↑
施策 06	共に支え合う地域福祉の推進	↑	↑	↑	↑
施策 07	高齢者福祉の充実	↑	↑	↑	↑
施策 08	障害者福祉の充実	↑	↑	↑	↑
施策 09	セーフティネットによる生活支援	↑	↑	↑	↑
施策 10	雇用・就労の支援	↑	↑	↑	↑
施策 11	生涯を通じた健康づくり	↑	↑	↑	↑
施策 12	生涯学習のまちづくり	↑	↑	↑	↑
施策 13	市民スポーツの振興	↑	↑	↑	↑
施策 14	地域コミュニティの醸成	↑	↑	↑	↑
施策 15	人権の尊重・男女共同参画社会の形成	↑	↑	↑	↑
施策 16	平和施策・国際交流の推進	↑	↑	↑	↑
施策 17	魅力ある産業の推進	↑	↑	↑	↑
施策 18	都市農業振興の推進	↑	↑	↑	↑
施策 19	魅力ある観光の振興	↑	↑	↑	↑
施策 20	文化芸術の振興	↑	↑	↑	↑
施策 21	地域ゆかりの文化の保存と継承	↑	↑	↑	↑
施策 22	良好な市街地の形成	↑	↑	↑	↑
施策 23	地域特性を生かしたまちづくり	↑	↑	↑	↑
施策 24	良好な住環境づくり	↑	↑	↑	↑
施策 25	利便性の高い交通体系の確立	↑	↑	↑	↑
施策 26	快適な公共交通環境の整備	↑	↑	↑	↑
施策 27	脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策と環境保全の推進	↑	↑	↑	↑
施策 28	水と緑による快適空間づくり	↑	↑	↑	↑
施策 29	ごみの減量と適正処理	↑	↑	↑	↑
施策 30	快適な生活環境づくり	↑	↑	↑	↑

「デジタル技術の活用」の視点



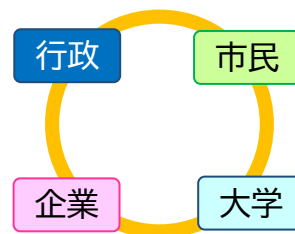
◆国や東京都がデジタル化に関する方針（デジタル田園都市国家構想, Society5.0 など）を打ち出す中, 市としても, デジタルデバイド対策に十分留意しながら, 市民の利便性の向上を目指し, 行政手続や市民サービスにおけるデジタル技術やデータを活用した, 積極的な取組を推進します。

主な取組	該当する施策
マイナポータルの子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）	施策 03
児童・生徒1人1台端末の活用	施策 04
デジタルデバイド対策の推進	施策 07
オンラインを活用したフレイル予防	施策 07
地域福祉センター予約のオンライン化	施策 14
キャッシュレス決済の普及促進	施策 17
収蔵資料データベースの整備	施策 21
デジタル技術を活用した単身高齢者等の見守り	施策 24
デジタル技術を活用した交通サービスの導入の促進	施策 26
eスポーツを活用した交流機会の創出など	施策 05 など

「共創のまちづくり」の視点

- ◆多様化・複雑化する行政課題や市民ニーズに的確かつ柔軟に対応するためには, 様々な主体と協力しながら施策を展開していくことが不可欠です。市内では, 福祉, 環境, 防災などの様々な分野で市民や団体などが活発に活動しており, 今後も, こうした多様な主体と行政とが適切な役割分担の下, とともに考え, とともに行動する, 参加と協働による共創のまちづくりを推進していきます。
- ◆あわせて, 調布スマートシティ協議会など, 産学官民の知見や特性を活かし, 創意工夫の下, 連携・協働しながら, 市における社会的課題の解決に向けた取組を進めていきます。

参加と協働による
共創のまちづくり



主な取組	該当する施策
地域における防災訓練等を通じた地域防災力向上の取組の推進	施策 01
デジタル技術を活用した食育の推進	施策 04
つながり創出による高齢者の健康増進事業（CDC運動）	施策 07
大学との連携による学習支援	施策 09, 12
アフラックとの包括的パートナーシップ協定に基づくがん対策普及啓発事業	施策 11
多様な主体と連携した市民スポーツ振興	施策 13
市民が農とふれあう機会の創出	施策 18
映画・映像関連企業や水木プロダクション等との連携	施策 19
花いっぱい運動の推進	施策 28

「脱炭素社会の実現」の視点

- ◆市の地球温暖化対策では、市民・事業者・市が連携・協働し、地球温暖化対策推進法に基づく調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に位置付けた様々な取組を推進することで、温室効果ガスを削減する「緩和策」(省エネ、建物の断熱性能の向上、再生可能エネルギーの導入、緑の保全・創出等)及び気候変動による被害の回避・軽減を図る「適応策」を推進しています。
- ◆市民一人一人が地球温暖化及び気候変動の問題に対する危機感を持ち、自分ごととしてとらえて意識し、行動を変える“かしこい選択”を積み重ね、広げていくことで、暮らしを変え、未来の脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指しています。



主な取組	該当する施策
SDG s 教育の推進	施策 03
公共施設における再生可能エネルギーの促進	施策 04 など
シェアサイクルの推進	施策 11, 26 など
都市農地の保全	施策 18
省エネルギー住宅の促進	施策 24
街路灯のLED化の推進	施策 25
CHOFUプラスチック・スマートアクション	施策 27
食品残渣を利用した資源循環モデルの実証	施策 29
雨水浸透施設の設置	施策 30

「フェーズフリー」の視点

- ◆フェーズフリーとは、日常的に使用・提供している施設機能や市民サービス、システムなどを、平常時だけではなく災害時などの非常時においても活用できるよう整備していくという考え方です。
- ◆例えば、防災用品はほとんどが普段はしまっておいて非常時に取り出して使うものですが、フェーズフリーの考えを取り入れたモノやサービスは、日常時のいつもの生活で便利に活用できることはもちろん、非常時にもその効果が発揮されます。

主な取組	該当する施策
各家庭での日常備蓄の促進・市の防災備蓄品の効率的な配備及び利活用の推進	施策 01
保育園や児童館, 学童クラブ等の施設整備におけるフェーズフリー対応	施策 03
フェーズフリーの考え方を取り入れた新たな総合福祉センターの整備	施策 06
日頃のフレイル予防や地域交流を通じた災害時の避難生活等での健康悪化防止	施策 07
スポーツ施設の災害時の活用	施策 13
分譲マンションの適正な管理の支援	施策 25
電気自動車利用環境の整備	施策 26
災害時に活用可能な太陽光発電設備の設置	施策 27
ふじみ衛生組合リサイクルセンターの強靱化	施策 29